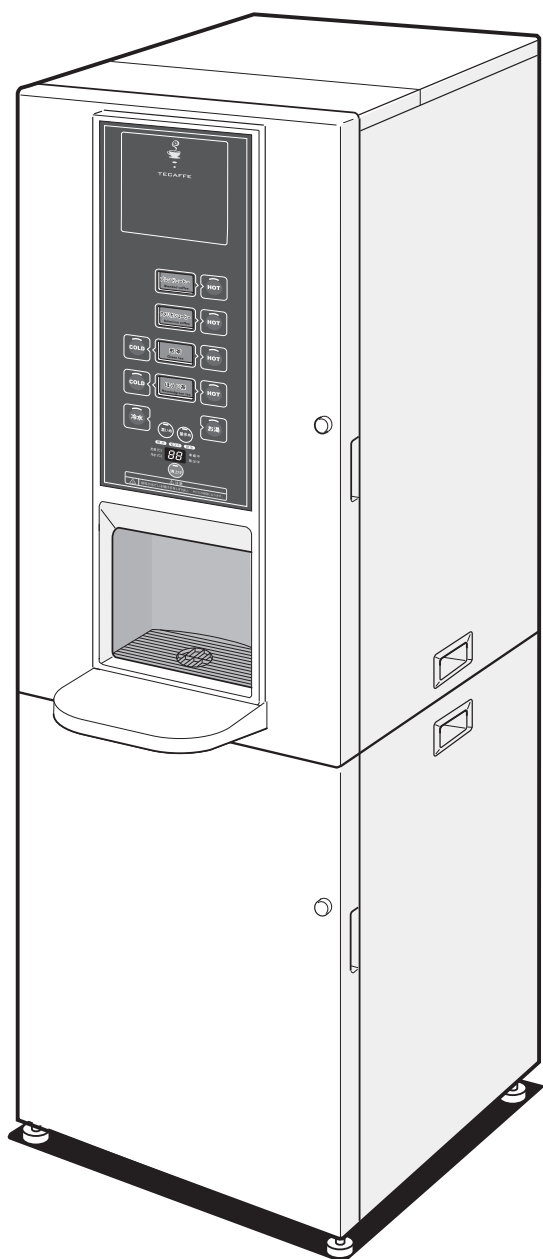


自動お茶いれ機 取扱説明書

形名

HTC-854RL



もくじ

安全上のご注意	1~3
お願い	4
各部のなまえとはたらき	5~7
はじめてご使用になる前に	8~9
給水のしかた	10
排水のしかた	11~12
原料の入れかた	12
コントローラーの使いかた	13~40
コントローラーで設定できる機能	13~15
数値設定する機能の設定可能値	16~17
初期設定・通常設定のしかた	18
休止故障履歴を見る(通常設定のみ)	19
累計の抽出杯数を見る(通常設定のみ)	19
現在時刻を合わせる	20
湯温・適温を設定する	21
週間予約を設定する	22
休日予約を設定する	23
学習省エネ運転を設定する	24
定期的に沸騰させる	25
リンスする	25~27
給水方式を設定する	28
動作音を設定する	29
基準値を設定する	30
浄水器の交換時期を設定する	31
冷却用タンクの水の交換時期を設定する	32
スクリーンフィルターの交換時期を設定する	33
レギュラーコーヒー原料の売り切れを設定する	34
廃棄容器の清掃時期を設定する	35
サニテーションの時期を設定する	36
かんたん設定(飲料量)を行う	37
原料の量を設定する	37
飲料の量と温度を設定する	38
濃さの追加を設定する	38
量の追加を設定する	39
適温になっていないが抽出する	39
お手入れ	41~45
別売部品	46
修理サービスを依頼する前に	47~48
仕様	49
保証とアフターサービス	50
長期使用製品の安全に関するお願い	51

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 工事説明書および保証書を販売店から必ずお受けとりのうえ保存してください。



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転を行い異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】




表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

警告**異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼する**

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事が必要です。またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

原料容器棚に手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

飲料抽出動作中は機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

RC ブルワー動作中は、RC ブルワーおよび機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

安全上のご注意 (つづき)

警告

湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買上げの販売店に依頼し、必ず湯タンク内の湯を排水してください
再度、湯タンクヒーターを通电させるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください
衛生上の問題や故障の原因になります。



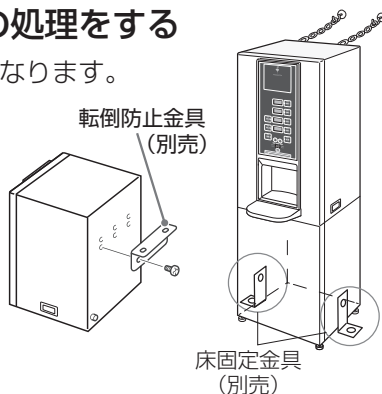
衛生注意

地震などによる転倒防止の処理をする

振動により転倒し、けがの原因になります。

自動お茶いれ機の転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具を使用して、壁や柱に固定してください。部品はお買上げの販売店にご相談ください。



自動お茶いれ機と別売置台の連結

置台に付属の取付金具 B (3 枚) を同梱の説明書の通り取付け、自動お茶いれ機と置台を連結してください。

置台の転倒防止

置台を使用する場合は、グラグラしないように置台の高さ調整脚で高さを調整し、置台を別売の床固定金具で確実に固定してください。



転倒防止

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

カップ置台の上に乗ったり、重いものを載せない

カップ置台が破損しけがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

本体の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



引火物禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯 (30℃以上) や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

スパウトヒーター(原料防湿用)を通电させずにご使用になるときは、お買上げの販売店に依頼してください

使用原料の種類や設置場所の環境(室温、湿度等)によって原料が固着する場合があります。



指示

お願い

長時間お使用にならないとき

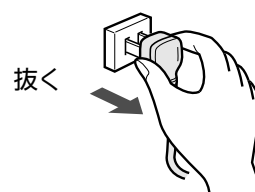
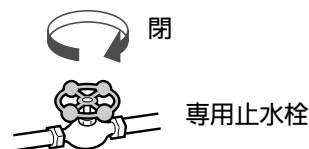
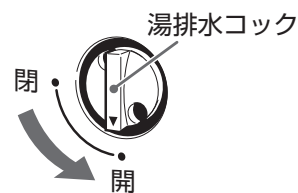
2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがあります。

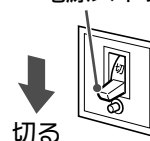
湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開け、電源スイッチを切り、カップステーションを取りはずし、湯排水コックを「開」にして排水します。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。

また、本体内の残水をすてるために、飲料ボタンの「冷水」を5～6回押しします。日常のお手入れは、湯排水コックを閉じて行ってください。



電源スイッチ



1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。止水栓を閉め排水し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「排水のしかた」(11～12ページ参照)に従い排水してください。

別売置台 (CT-33L) をご使用の場合は、水タンクと排水タンクの水も、必ず排水してください。

お願い

別売置台CT-33L、排水容器キットOKT-11Lの排水タンクに排水するときは、自動お茶いれ機本体の湯タンクの容量が、排水タンクの容量(10L)より多くなります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。

お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

お手入れをするとき

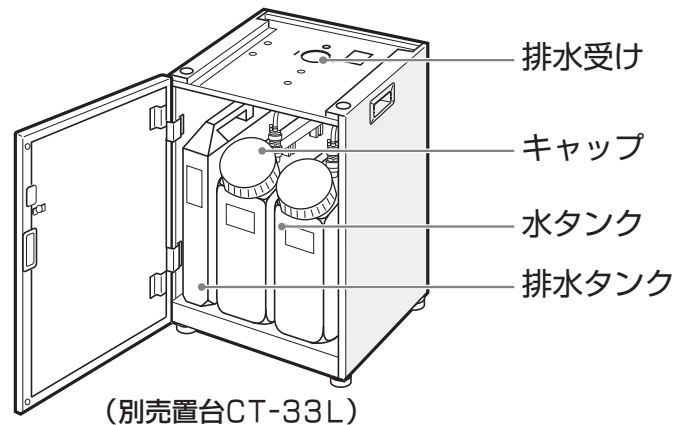
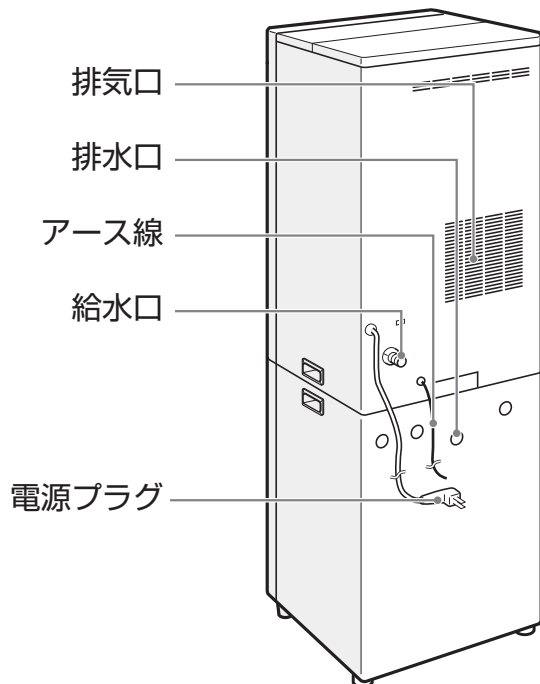
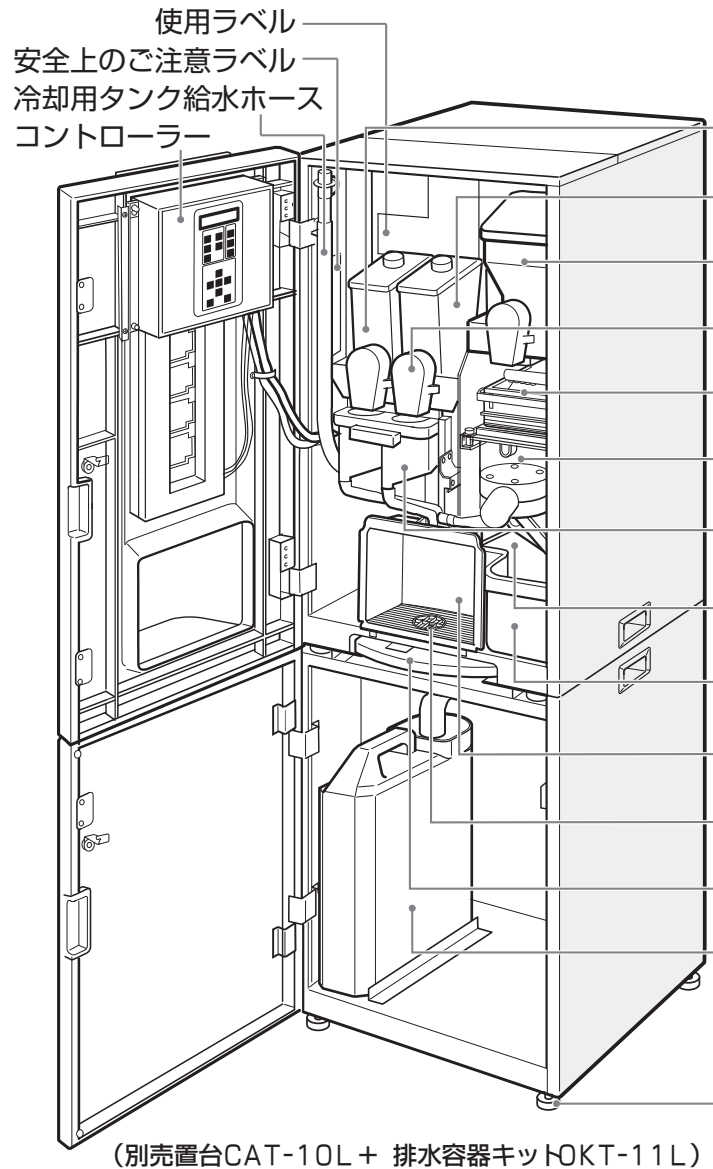
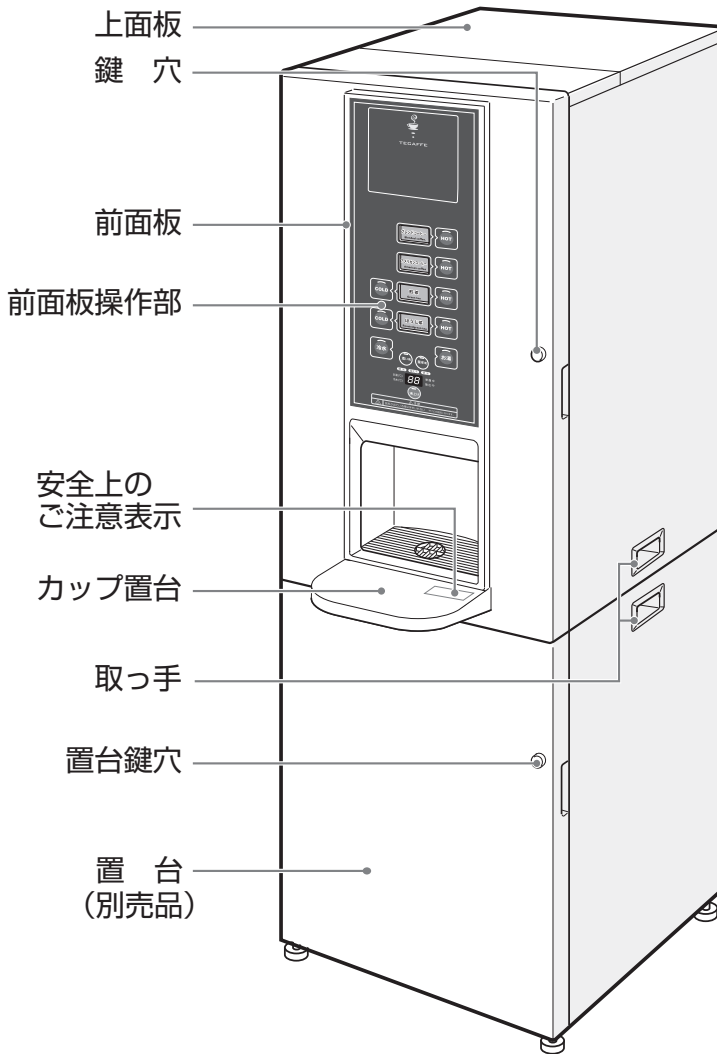
クレンザー、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、ベンゾールなどを使用しないでください。

変質・変色・破損の原因となる場合があります。

また、樹脂部品にハンドクリーム等が付着したまま放置すると、変色の原因となる場合がありますので、付着した場合は速やかに拭き取ってください。

各部のなまえとはたらき

本 体



前面板操作部

飲料ボタンとボタンランプ

- ・ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと抽出することができます。抽出中はボタンランプが点滅します。
- ・ボタンランプが消灯しているときは、その理由がデジタル表示部に表示されます。
- ・ボタンランプが全て点滅しているときは、リンス中を表します。リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

原料容器3

原料容器2

原料容器1

原料シュート

ブルワーチャンバー

RCブルワー

ミキシングボール
ロート

フィルター（奥側）

廃棄容器

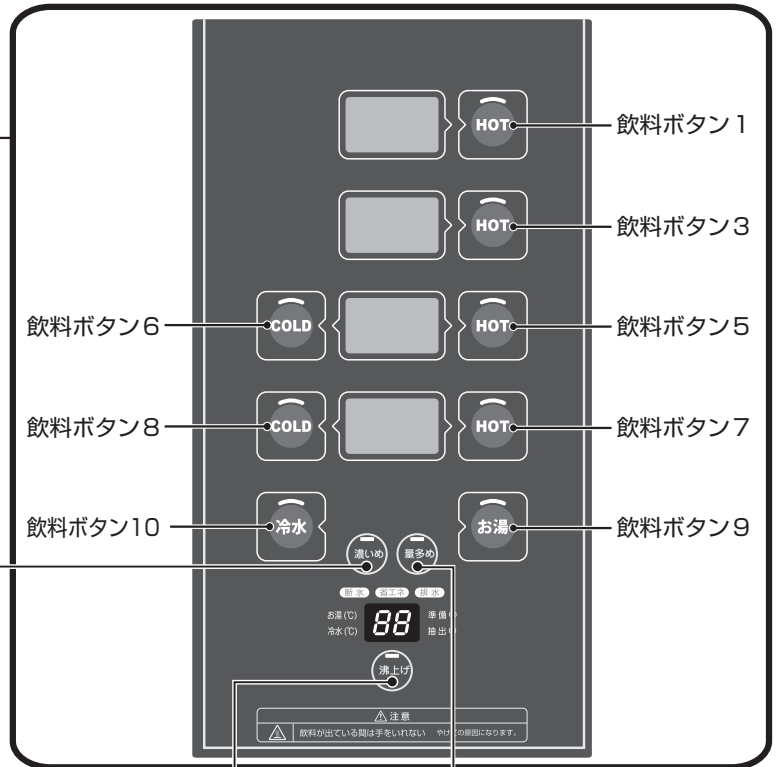
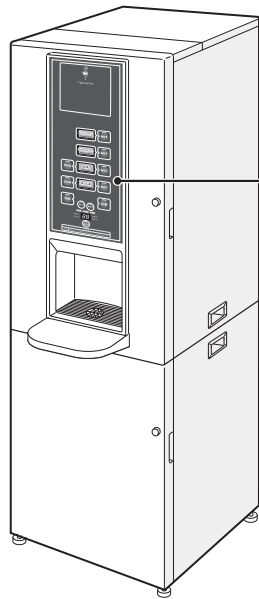
カップステーション

スノコ

排水皿

排水タンク

高さ調整脚



濃いめボタン

濃いめボタンを押すとボタンランプが点滅し、飲料の濃さが追加されます。もう一度濃いめボタンを押すとランプが消灯し、キャンセルします。（飲料ボタンを押す前に押してください。）

量多めボタン

量多めボタンを押すとボタンランプが点滅し、飲料の量が追加されます。もう一度量多めボタンを押すとボタンランプが消灯し、キャンセルします。（飲料ボタンを押す前に押してください。）

沸上げボタン

沸上げボタンを押すとボタンランプが点滅し、湯タンクの沸騰動作を行います。もう一度沸上げボタンを押すとボタンランプが消灯し、キャンセルします。（沸騰動作が終了すると、ボタンランプは消灯します。）（沸騰動作中の間欠ブザー音は、消すことができます。）

各部のなまえとはたらき (つづき)

前面板マルチインフォメーション部

断水ランプ

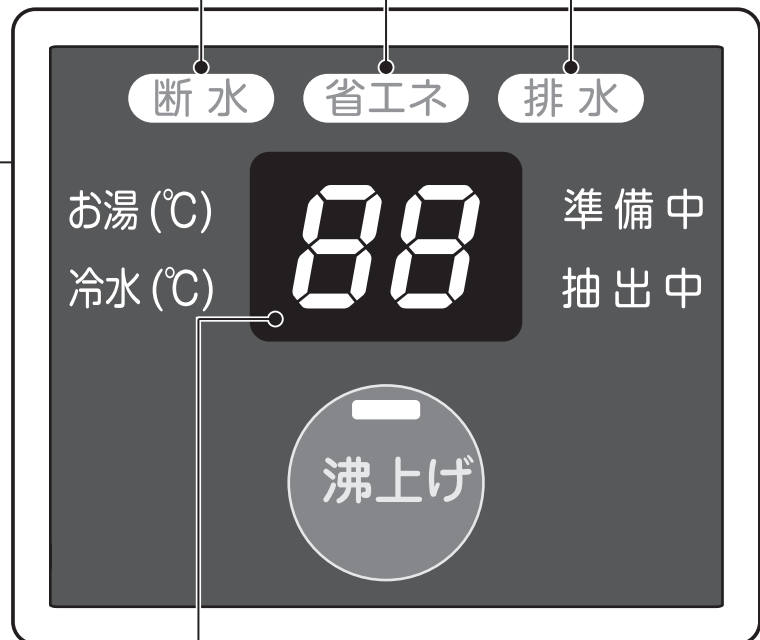
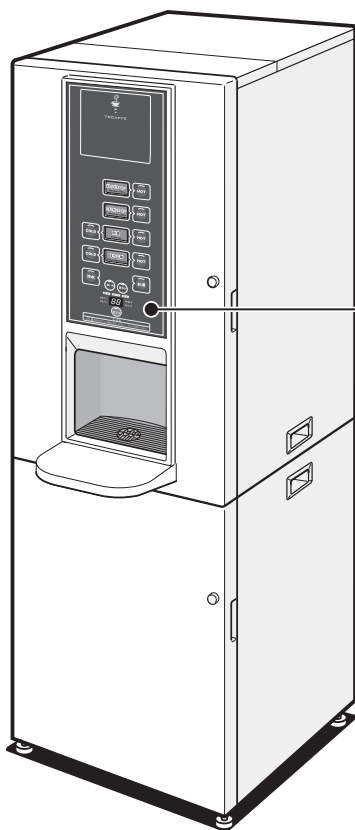
正常な状態では消灯しています。
断水になると点滅します。

省エネランプ

学習省エネ運転動作中、
週間予約動作中に点灯します。

排水ランプ

正常な状態では消灯しています。
置台の排水タンク・排水容器が満水になると点滅します。



デジタル表示

- ・ お湯温度、冷水温度を交互に表示します。
- ・ 沸騰動作中は、お湯温度を表示します。
- ・ 飲料抽出中は、抽出終了時間をカウントダウンします。
(カウントダウンは目安としてお使いください。)
- ・ 故障時は右表の故障メッセージが表示されます。

水センサー開放	F 0	漏 水	F 7
水センサー短絡	F 1	電池異常	F 8
IBC センサー異常	F 2	コイン信号異常	F 9
冷水機異常	F 3	時計異常	F A
湯センサー開放	F 4	メモリー異常	F B
湯センサー短絡	F 5	ブルワー異常	F C
湯センサー異常	F 6	—	—

はじめてご使用になる前に

警告

湿気が多いところや、水のかかる
ところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事が必要です。またアース線は
ガス管・水道管・避雷針・電話線などへの
接続はしないでください。

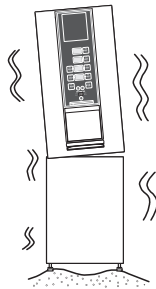


アースの接続

設置環境の確認

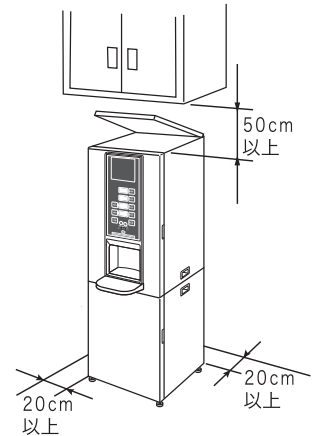
床は丈夫で平坦な場所に据えつけられていますか

床が傾いていたり不安定な場所では、
転倒したり振動や騒音の原因になり
ます。



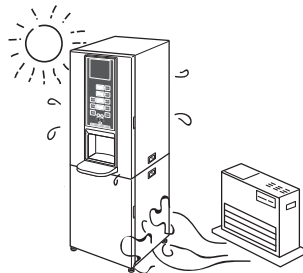
風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え
付けられていますか

必ず両側面と後面は20 cm以上の隙間を開けてください。
スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開け
たとき物に当たったりします。また、上側は修理サービ
スのときに、上面板が開けられるように50 cm以上空間を
開けてください。



直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付け
られていませんか

冷水機の冷却効果が低下したり、
過熱し故障の原因になります。



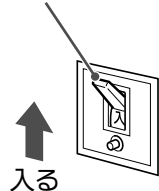
輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

電源の入れかた

前面板を開けて、電源スイッチを兼ねている漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入ります。電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。
夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが動かず原料が固まり出
なくなることがあります。

電源スイッチ



別売置台CT-33Lをご使用の場合

電源を入れる前に、置台の水タンク2個に満水レベルまで給水してください。
水タンクが空の状態では電源を入れると、ポンプが故障する原因になります。

より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、つぎの手順を2～3回繰り返して内部を洗浄してください。

1. 「給水のしかた」（10ページ参照）に従い給水します
2. 前面板操作部の各飲料ボタンを押し、それぞれコップに4～5杯分の水を排水します
3. 「排水のしかた」（11～12ページ参照）に従い本体内部の水を排水します
4. 再度、給水してからご使用ください

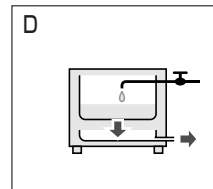
はじめてご使用になる前に (つづき)

給水排水方式について

据付場所や給水・排水の方法により4つのタイプがあります。

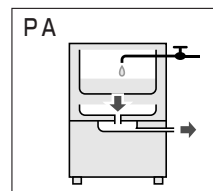
Dタイプ (水道直結・直接排水・卓上式)

既存のテーブルやカウンターの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。

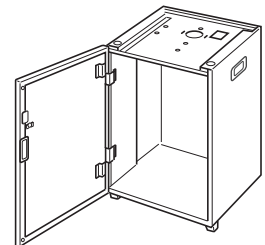


PAタイプ (水道直結・直接排水式)

別売置台CAT-10Lの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。置台内部に除菌浄水器 (水フィルター) が組込まれているタイプと組込まれていないタイプがあります。

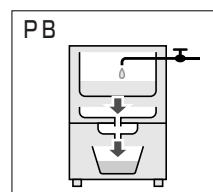


別売置台CAT-10L

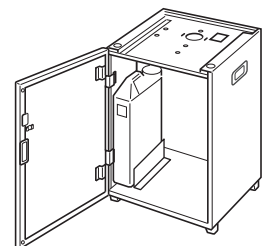


PBタイプ (水道直結・排水容器付)

別売置台CAT-10Lに別売排水容器キットOKT-11Lにて排水容器を取り付けます。改造した置台の上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水タンク (10L) に排水して使用します。

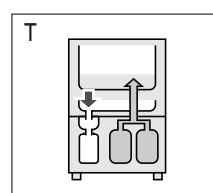


別売置台CAT-10L
+ 別売 排水容器キットOKT-11L

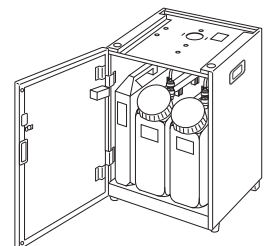


Tタイプ (下部給水・排水容器付)

給水は置台の水タンク (15L×2個) から内蔵ポンプで自動給水を行い、排水は排水口へ直接排水、または置台の排水タンク (10L) に排水することができます。置台内部に除菌浄水器 (水フィルター) が組込まれています。ポンプ電源は本体からとり、電源コンセントはいりません。

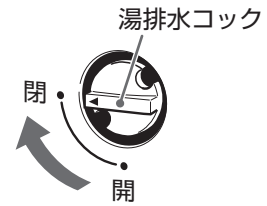


別売置台CT-33L



給水のしかた

前面板を開け、カップステーションを取りはずし、湯排水コックが閉まっていることを確認します。

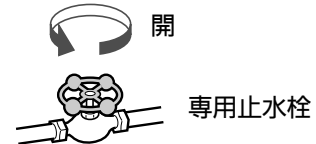


湯タンクへの給水

Dタイプ(水道直結・直接排水・卓上式)、PAタイプ(水道直結・直接排水式) またはPBタイプ(水道直結・排水容器付)の場合

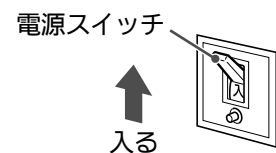
1 止水栓を開き給水する

水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。



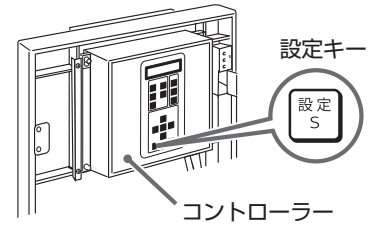
2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。



3 断水や一度で満水にならないとき

断水や一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅して給水を一時中止します。水道の給水を確認しコントローラー操作部の「設定」キーを押してください。給水を再開します。



Tタイプ(下部給水・排水容器付)の場合

⚠ 注意

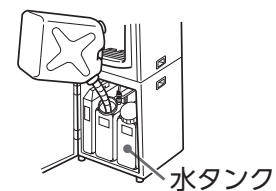
2つのタンクに給水してから電源を入れる

1つのタンクに給水しただけでは正常に動作せず、故障の原因になります。



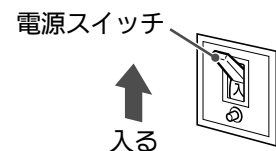
1 置台の水タンクに給水する

ポリタンクなどで、置台の水タンク2個に満水レベル(15L)まで給水します。



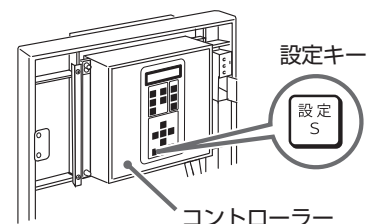
2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。



3 水タンクが空になったり一度で満水にならないとき

水タンクが空になったり、一度で満水にならないときは、前面板の断水ランプが点滅し、給水を中断します。水タンクに水を補給しコントローラー操作部の「設定」キーを押すと、給水を再開します。



冷却用タンクへの給水

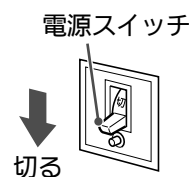
冷却用タンクへの給水は「年に一度のお手入れ」(45ページ参照)の給水方法に従ってください。(満水になると休止モニターの「レイキャクスイダンスイ」の表示が消えます。)

排水のしかた

湯タンクの排水

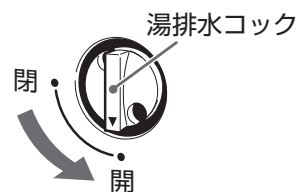
1 電源スイッチを切る

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを下げ電源を切ります。
電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。



2 湯排水コックを開き排水する

カップステーションを取りはずし、湯排水コックを開きます。
別売置台の排水タンクに排水するときは、自動お茶いれ機本体の湯タンクの排水量が、排水タンクの容量(10L)より多くなる場合があります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。



お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。湯タンクの水を排水してください。

3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し湯排水コックを閉じます。

冷却用タンクの排水

冷却用タンクの排水は「年に一度のお手入れ」(45ページ参照)の排水方法に従ってください。

別売置台 (CT-33L) 水タンクの排水

湯タンクの排水をしてから、水タンクの排水をしてください。

1 湯排水コックを開き、電源を入れる

前面板を開けカップステーションを取りはずし、湯排水コックを開き電源を入れます。

電源を入れたままで湯排水コックを開くことにより、水タンクの水を湯タンクに給水しながら排水が行えます。約5分が過ぎると自動的に給水が停止します。排水が足りないときは、再度「設定」キーを押してください。

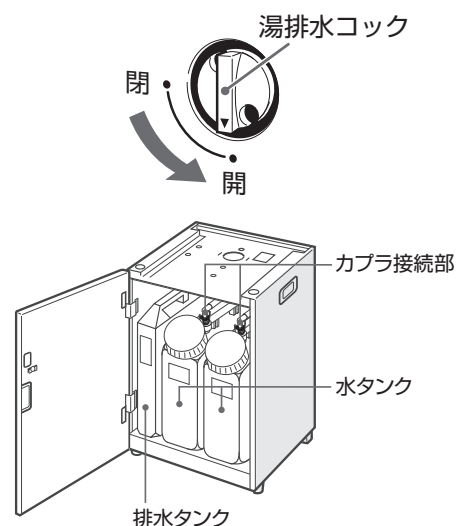
排水量が排水タンクの容量(10L)より多い場合は、必ず2回以上に分けて溢れさせないように排水してください。

2 カプラをはずし残水をすてる

水タンクの水がほぼ無くなったら、電源を切り水タンク上部のカプラをはずし、水タンクを取り出し残水をすてます。

3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し、湯排水コックを閉じます。



お願い

別売置台CT-33Lは、2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。水タンクの水を排水してください。

●カプラの着脱

はずすときは、ソケットのつまみを持って、上方へ持ち上げてはずします。
接続のときは、ソケットをカプラ栓の突き当たりまで差し込み、カプラ栓のリブにソケットのつまみの爪を引っ掛けて固定します。
接続するときは、ソケットの爪がカプラ栓のリブに引っかかって固定されていることを確認してください。爪がはずれていると、使用中にソケットがはずれるおそれがあります。



原料の入れかた

指定の原料以外はご使用にならないでください。

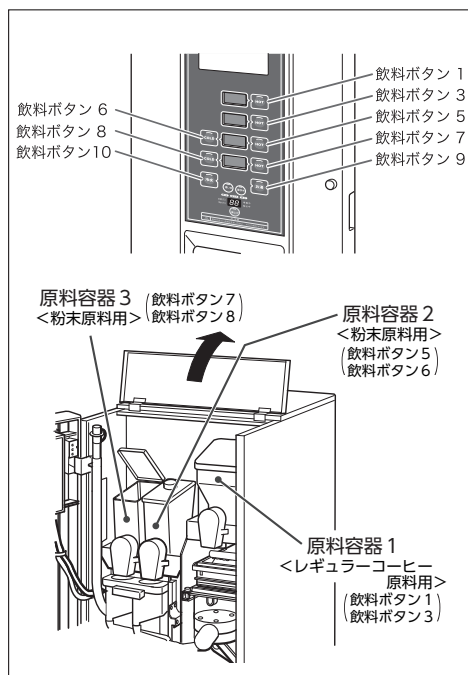
粉末原料は種類によって粒度や吸湿性が異なると正常な動作ができないことがあります。

レギュラーコーヒー原料は種類によって粒度や原料特性が異なると正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、販売店にご相談ください。

1 原料容器と飲料ボタンを確認する

前面板の飲料ボタンと、原料容器の関係をまちがえないように、確認します。原料容器1はレギュラーコーヒー原料用、原料容器2・3は粉末原料用です。



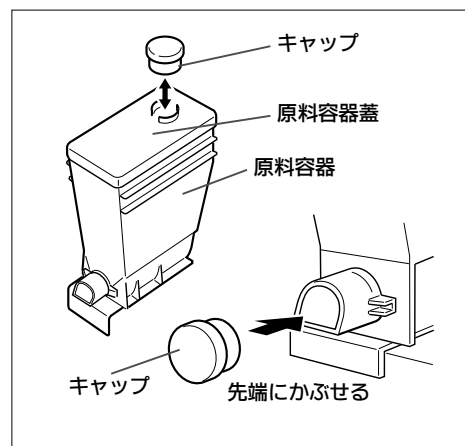
2 原料容器に原料を入れる

上面板の手前側を持ち上げてから、原料容器の蓋を開け、上から原料を静かに入れます。原料容器1（レギュラーコーヒー原料用）の容量は専用原料で約400gです。原料容器2、3（粉末原料用）の容量は約800mlです。

原料容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。

原料容器を着脱するときは

原料容器の先端から原料がこぼれないように、原料容器蓋についているキャップを取りはずし、原料容器の先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。



コントローラーの使いかた

コントローラーで設定できる機能

ブルワーサービスキー

キーを押すごとに、ブルワーチャンバーが開閉します。

リンスキー

ミキシングボールおよびRCブルワーの洗浄動作を行います。動作時の湯・水量、定期的にリンスを行う設定は「選択」キーによる「自動リンス」で行ってください。

また、キーを長押し(2秒)することで、RCブルワーのみリンスを行います。

コーヒーリセットキー

キーを2回押すと、レギュラーコーヒーの原料切れカウンターをクリアします。(原料を投入したときに押します。)

学習省エネキー

キーを押すごとに「学習省エネ運転」と「通常運転」を切替えます。

廃棄リセットキー

キーを2回押すと、レギュラーコーヒーの抽出済み原料を廃棄する容器の清掃時期カウンターをクリアします。(廃棄容器を清掃したときに押します。)

訂正キー

表示部の指示により設定内容を変更・自動表示送りを停止をするときに使用します。

設定キー

入力操作した内容が設定されます。また故障解除時にキーを押します。

表示部

待機画面では、現在時刻・湯タンク・冷水機の運転状態および温度を表示します。

飲料が抽出できない状態では「休止モニター」、故障の場合は「故障モニター」を自動表示します。

湯・水・原料キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

タイマー解除キー

このキーを押し「イチジカイジョ」に設定すると、次の休止中条件が一時解除され運転・抽出ができるようになります。

- ・適温設定温度に達していない
- ・「学習省エネ」「週間予約」「休日予約」で休止中

選択キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

終了キー

待機画面に戻ります。「リンス」「沸騰」の動作中はボタンを押しても待機画面に戻りません。

カーソルキー

表示画面の中で設定する項目送り、項目・内容・数値選択・自動送り表示を停止するのに使います。

◀▶ : 項目・内容選択

△▽ : 項目送り、内容・数値選択、自動送り表示停止

湯・水
原料

キー

機能	内容
かんたん設定	飲料の量を「少ない」「標準」「多い」から設定できます。 (飲料の濃さ、温度は初期値となります)
原料	原料の量を設定できます。
湯・水	各飲料ボタンの湯または水の抽出する量と温度を設定できます。
濃さの追加	濃いめボタンを押したときの、原料量を増やす割合を設定できます。
量の追加	量多めボタンを押したときの、飲料量を増やす割合を設定できます。

選択

キー

機能	内容
休止履歴	休止があった場合、最新の休止20項目が表示されます。
故障履歴	故障があった場合、最新の故障20項目が表示されます。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。
カウンター	飲料の抽出杯数を確認できます。
現在時刻	現在の年月日、時刻の調整に使用します。曜日は年月日に合わせて自動修正されます。
湯温・適温	湯温（お湯の沸き上げ温度）と適温（飲料の抽出可能温度）の設定ができます。
週間予約	曜日ごとに運転時間を設定できます。 休日や夜間などの運転を自動的に停止させることができます。
休日予約	連続して停止させたい期間の年月日を最大9回まで設定できます。 連休などの運転を自動的に終日停止させることができます。
学習省エネ運転	過去3週間の使用状態を学習し、最適な運転モードに自動切替し、消費電力量を抑える機能です。 (1) 湯タンクの運転 ●過去3週間に使用された時間帯およびその前の1時間は、 学習省エネ運転の「湯温」、「適温（湯）」設定値にて運転します。 ●過去3週間に使用されなかった時間帯は、 沸き上げは行いませんが、学習省エネ運転の「適温（湯）」設定値を下回るまでは使用可能です。 (2) 冷水機の運転 ●過去3週間に使用された時間帯およびその前の1時間は、 学習省エネ運転の「適温（冷水）」設定値にて運転します。 ●過去3週間に使用されなかった時間帯は、 冷水機の運転は行いませんが、学習省エネ運転の「適温（冷水）」設定値を上回るまでは使用可能です。
沸騰制御	1日に最大3回、設定時刻になると自動的に湯を沸騰させることができます。
自動リンス	曜日ごとに1日最大4回、設定時刻に抽出口や配管などを自動的にリンス（洗浄）することができます。またリンスするときの湯・水の量、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替えも設定できます。（※除菌浄水器（水フィルター）が必要です。）

コントローラーの使いかた (つづき)

選択 キー

機能	内容
給水方式	<p>この機能は置台 (CT-33L) のポンプ、および排水容器キット (OKT-11L) と漏水検知装置 (RKT-25) に使用している外部電磁弁の動作のパターンとその最大動作時間を切り替えるものです。動作のパターンは、「下部タンク」と「水道」が設定できます。</p> <p>「下部タンク」は給水要求 (フロートスイッチが下がる) の都度、ポンプの運転、外部電磁弁の開動作を行い、「水道」は漏水を検知したとき以外は常に開動作しているように設定するものです。置台 (CT-33L) を使用している場合は、必ず「下部タンク」に設定してください。(工場出荷時は「下部タンク」に設定しています。)</p> <p>最大動作時間は、水道の断水や、置台の水タンクが空であることを検知するために設定します。一度の給水で、設定された連続時間を超えると「休止モニター」に表示して、給水動作を停止させます。</p> <p>「下部タンク」に設定した場合は5分間、「水道」に設定した場合は5～10分間の設定が可能です。</p>
動作音	<p>各種動作音の有無を設定できます。</p> <p>(コントローラーの操作音/抽出時の動作音/リンス時の動作音/沸騰制御の動作音/RCブルワー動作時の動作音)</p>
基準値	<p>湯・水・原料の設定値と実際の抽出量との違いを補正する機能です。</p> <p>この機能で設定することにより、「湯・水・原料」の機能で設定した量を正しく出すことができるようになります。</p> <p>また、「RC原料売切れ設定」、「廃棄容器交換」も基準値が正しく設定されていないと、適切な動作ができません。</p>
浄水器交換	<p>除菌浄水器 (水フィルター) の交換時期を設定し、交換時期に達したときに警告または停止させるかどうかの選択を行うことができます。</p> <p>この機能は別売の除菌浄水器付の置台または除菌浄水器 (水フィルター) が必要です。</p>
冷却水交換	<p>冷却用タンクの水の交換時期を設定し、交換時期に達したときに警告または停止させるかどうかの選択を行うことができます。</p>
スクリーンフィルター交換	<p>スクリーンフィルターの使用期限 (年月日) と使用可能回数を設定できます。</p> <p>使用期限または交換回数に達したときに「ケイコク」または「テイシ」させるかどうかの選択を行うことができます。「ケイコク」に設定すると、使用期限の1ヶ月前から、コントローラーの表示部に警告表示をします。</p>
RC原料売切れ	<p>レギュラーコーヒー原料の投入量を設定できます。</p> <p>抽出杯数をカウントし、原料が無くなったときに「ケイコク」または「テイシ」させるかどうかの選択を行うことができます。</p> <p>(原料投入後、ダイレクトキーの「コーヒーリセット」キーを2度押すことで、警告のクリア、カウンターのリセットができます。)</p>
廃棄容器清掃	<p>レギュラーコーヒー抽出済み原料の廃棄時期を設定できます。</p> <p>抽出杯数をカウントし、設定量に達したときに「ケイコク」または「テイシ」させるかどうかの選択を行うことができます。</p> <p>(原料廃棄容器清掃後、ダイレクトキーの「廃棄リセット」キーを2度押すことで、警告のクリア、カウンターのリセットができます。)</p>
サニテーション設定	<p>RCブルワーのサニテーション (指定薬剤を使用する清掃) 時期を設定できます。</p> <p>設定した時期または実行杯数に達したときに「ケイコク」または「テイシ」させるかどうかの選択を行うことができます。</p> <p>(サニテーションを行うと、警告をクリアし、次回の実施日をセットします)</p>
チェック	<p>マイコンのバージョン情報を表示します。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。</p>

数値設定する機能の設定可能値

機 能		設定可能値	設定のきざみ	
湯・水・原料	かんたん設定		少ない・標準・多い	
	原料量 (注1)	接続1	0.1~18.0g	0.1g
		接続2・3	0.1~8.0g	
	湯水量 (注2)	接続1	60~220ml	5ml
		接続2・3	50~200ml	
		接続4	50~200ml・連続	
	湯・水の温度 (注3)		COLD・3~85℃・HOT	1℃
濃さの追加 (注4)		0~50%	10%	
量の追加 (注5)		0~50%	10%	
湯温・適温	湯温		73~98℃	1℃
	適温 (注6)	湯	63~85℃・しない	1℃
		冷水	3~20℃・しない	1℃
		RC	85~90℃・しない	1℃
週間予約	週間予約動作		する・しない	
	曜日		月~日・一括 (月~金)	
	時刻 (注7)	開始時刻	00:00~23:59・連続	1分
		終了時刻	00:00~23:59・連続	1分
冷水機運転		する・しない		
休日予約	休日予約動作		する・しない	
	年月日	開始日	000101~991231	1日
		完了日	000101~991231	1日
	冷水機運転		する・しない	
学習省エネ運転	湯温		73~98℃	1℃
	冷水温		0℃ (氷あり検知制御)・3℃	
	適温 (注6)	湯	63~85℃・しない	1℃
		冷水	9~20℃・しない	1℃
		RC	85~90℃・しない	1℃
開始時間		00:00~23:00・しない	1時間	
沸騰制御	沸騰動作		する・しない	
	時刻 (注8)		00:00~23:59・しない	1分
自動リンス	リンス動作		する・しない・週間予約同期	
	曜日		月~日・毎日	
	時刻 (注8)		00:00~23:59・しない	1分
	湯量		10~150ml	5ml
	水量		10~100ml	5ml
	ブルワー量		10~200ml	5ml
除菌浄水器 (水フィルター)		0~5000ml	100ml	
給水方式	給水方式		下部タンク・水道	
	最大動作時間 (注9)		5~10分	1分
	断水検知回数		1~5回・しない	1回
動作音	操作音		する・しない	
	抽出音		する・しない	
	リンス動作音		する・しない	
	沸騰動作音		する・しない	
	ブルワー動作音		する・しない	
基準値	原料量	接続1	7.0~20.0g	0.1g
		接続2・3	0.1~8.0g	
	湯量	120~250ml		1ml
水量	50~250ml		1ml	
浄水器交換	交換時期動作		警告・停止・しない	
	開始日・使用期限		000101~991231	1日
冷却水交換	交換時期動作		警告・停止・しない	
	開始日・使用期限		000101~991231	1日

コントローラーの使いかた (つづき)

数値設定する機能の設定可能値

	機 能	設 定 可 能 値	設定のきざみ
スクリーンフィルター 交 換	交換時期動作	警告・停止・しない	
	開始日・使用期限	000101~991231	
	使用回数	1000~100000	1000
RC 原料売切れ	原料売切れ時動作	警告・停止・しない	
	初期原料量	200~500g	50g
廃棄容器清掃	清掃時期動作	警告・停止・しない	
	原料廃棄量	200~500g	50g
サニテーション設定	サニテーション時期動作	警告・停止・しない	
	開始日・使用期限	000101~991231	
	使用回数	100~10000	100

- 湯・水・原料の量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。
- 工場出荷時は標準的な使いかたの値が設定されています。くわしくは各機能の設定画面を表示してご確認ください。
 - (注1) 飲料ボタン9、10は原料の量を設定することはできません。
 - (注2) 飲料ボタン9はお湯、飲料ボタン10は冷水用の飲料ボタンです。
工場出荷時には飲料ボタンを押している間だけ飲料を抽出する「連続」設定ですが、湯・水の量を数値に選択しますと、その設定した量の飲料が定量抽出されます。
このとき、ほかの飲料ボタンとは異なり、飲料ボタンを押している間だけ飲料を抽出することもできます。
 - (注3) 湯・水の量を「連続」に設定したとき、温度は「COLD」、「HOT」のみの設定となります。
飲料ボタン1、3は「HOT」のみの設定となります。
 - (注4) 濃さの追加ボタンを押してから飲料ボタンを押すと、設定した量の原料が追加抽出されます。
例：原料1.0gで濃さの追加20%のときは、0.2g追加抽出されます。
 - (注5) 量の追加ボタンを押してから飲料ボタンを押すと、設定した飲料量が追加抽出されます。
例：湯量100mlで量の追加20%のときは、20ml追加抽出されます。(原料量の追加を含む)
飲料量の設定可能範囲を超える追加量の設定はできません。
 - (注6) 適温を「しない」に設定すると湯温や水温に関係なく抽出できます。
 - (注7) 時刻を「連続」に設定すると終日運転または終日停止になります。
 - (注8) 時刻を「しない」に設定すると動作しません。
 - (注9) 給水方式「水道」のときのみ設定変更可能です。

初期設定

初めてご使用の際は、「初期設定」を行う必要があります。







「選択」キーを押すごとに、初期設定メニューが表示されますので、各項目の設定を行ってください。

<初期設定メニュー>

給水方式	湯温・適温
基準値	沸騰制御
浄水器交換	学習省エネ運転
冷却水交換	現在時刻
動作音	スクリーンフィルター交換
週間予約	RC原料売切れ
休日予約	廃棄容器清掃
自動リンス	サニテーション設定

※各項目の設定方法は、通常設定と同じです。

※初期設定を完了するまでは、休止履歴、故障履歴、カウンターの確認ができません。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウスイ ホウシキ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	待機画面から「選択」キーを押して、左の画面を表示させます。
2		R・L デエランデ センタク シュウリョウ? Yes / No	表示される各項目の設定を行い、「選択」キーを押して項目を進めていくと、最後に左記画面が表示されます。
3	 	R・L デエランデ センタク シュウリョウ? Yes / No	 キーで点滅を「Yes」に移動します。
4		待機画面に戻ります。	「選択」キーを押すと設定が完了します。

通常設定

「初期設定」を完了すると、「選択」キーを押すごとに通常設定メニューが表示されるようになります。

<通常設定メニュー>

休止履歴	動作音
故障履歴	基準値
カウンター	浄水器交換
現在時刻	冷却水交換
湯温・適温	スクリーンフィルター交換
週間予約	RC原料売切れ
休日予約	廃棄容器清掃
学習省エネ運転	サニテーション設定
沸騰制御	チェック
自動リンス	
給水方式	

コントローラーの使いかた (つづき)

休止・故障履歴を見る (通常設定のみ)

【例】 故障履歴を見る。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*コショウリレキ* カクニンハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		ナイヨウハ T→U・D オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		1. 15- 5-10 12:34 ブルワー イジョウ	「訂正」キーを押すと最新の内容20項目が新しいものから順次 キーにより表示されます。 画面内容は上段の左から履歴番号、故障の年月日、同時刻、下段に故障内容の表示となっています。
		9. 14-10- 1 1:01 ミズ センサー カイホウ	
4		待機画面に戻ります。	確認終了です。

- 休止履歴を見る場合は順序3で「キュウシリレキ」を表示してください。

休止内容は下記項目を表示します。

- ・湯低水位
- ・湯温低い
- ・水温高い
- ・冷却準備中
- ・浄水器交換
- ・冷却水交換
- ・排水バケツ満水
- ・湯断水
- ・水断水
- ・冷却水なし
- ・電源遮断
- ・電源復帰
- ・廃棄容器満杯
- ・スクリーンフィルター交換
- ・RC 原料なし
- ・ブルワー清掃
- ・RC 湯温低い

- 故障内容は下記項目を表示します。

- ・水センサー開放
- ・水センサー短絡
- ・IBCセンサー異常
- ・冷水機異常
- ・湯センサー開放
- ・湯センサー短絡
- ・湯センサー異常
- ・漏水を検知
- ・電池異常
- ・コイン信号異常
- ・時計異常
- ・メモリー異常
- ・ブルワー異常













- 表示される内容は機種、置台の種類によって異なります。

累計の抽出回数を見る (通常設定のみ)

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*カウンター* カクニンハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		ナイヨウハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*カウンター* 140701 ホカハ U・D ~141231	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
4	 	トータル 008765 ホカハ U・D オワリハ E	キーを繰り返し押すと、年月日→トータル→ボタン1・・・ボタン10→有料→ブルワーと抽出回数が順次表示されます。
		ユウリョウ 000000 ホカハ U・D オワリハ E	
5		待機画面に戻ります。	確認終了です。

現在時刻を合わせる

[例] 14-11-1 12:00に合わせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンザイジコク* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		14-10- 1 (水) 1:01	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「年」が点滅します。
4	 	14-11- 1 (土) 12:00	  キーで点滅位置を移動し、   キーで各項目を変更します。(曜日は自動修正されます。)
5		14-11- 1 (土) 12:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

湯温・適温を設定する

[例] 湯温を98℃、レギュラーコーヒーの適温を90℃、湯の適温を70℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユオン・テキオン* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		ナイヨウハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		MAX ユオン 95℃	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユオン」が点滅します。
4	 	MAX ユオン 98℃	キーで点滅を移動し、 キーで「95」を「98」にします。
5		MAX ユオン 98℃	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	RC HOT テキオン 85℃ 63℃	キーを押すと左記画面が表示され「テキオン」が点滅します。
7	 	RC HOT テキオン 90℃ 63℃	キーで点滅を移動し、 キーで「85」を「90」にします。 キーで点滅を移動し、同様にHOT (湯) も変更します。
8		RC HOT テキオン 90℃ 70℃	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●適温を「シナイ」に設定すると、湯・冷水の温度に関係なく抽出できます。

週間予約を設定する

【例】土曜日と日曜日を終日停止、その他の日は8：00から20：00の間運転とし、冷水機も同様の運転とする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*シュウカン ヨヤク* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ヨヤク シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ヨヤク」が点滅します。
4	 	ヨヤク スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		ヨヤク スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	ヨウビ カイシ シュウリョウ イッカツ レンゾク **：**	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面を表示させます。
7	 	ヨウビ カイシ シュウリョウ イッカツ 08：00 20：00	キーで点滅位置を移動し、 キーで「カイシ」を「8：00」に、「シュウリョウ」を「20：00」にします。
8		ヨウビ カイシ シュウリョウ イッカツ 08：00 20：00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	ヨウビ カイシ シュウリョウ (土) レンゾク **：**	キーで「ヨウビ」の下が「(土)」の画面を表示させます。
10	 	ヨウビ カイシ シュウリョウ (土) レンゾク レンゾク	キーで点滅位置を移動し、 キーで「シュウリョウ」を「レンゾク」にします。
11		ヨウビ カイシ シュウリョウ (土) **：** レンゾク	「設定」キーを押し、設定を確定します。「カイシ」時刻は自動的に「**：**」となります。同様に「(日)」も「シュウリョウ」を「レンゾク」にします。
12	 	レイスイキ ウンテン スル	キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
13	 	レイスイキ ウンテン シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「シナイ」にします。
14		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
15		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序6で曜日を「イッカツ」にすると、月～金曜日の開始・終了時刻を一括設定できます。
- 順序13で冷水機運転を「スル」に設定すると、先に設定した週間予約に関係なく、運転停止中でも冷水機だけは運転します。
- 「カイシ」を「レンゾク」に設定すると終日運転、「シュウリョウ」を「レンゾク」に設定すると終日停止します。

コントローラーの使いかた (つづき)

休日予約を設定する

[例] 2014年7月15日から2014年7月17日まで運転を休止する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウジツ ヨヤク* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ヨヤク シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ヨヤク」が点滅します。
4		ヨヤク スル	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」にします。
5		ヨヤク スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		1カイメ カイシ シュウリョウ 140701 140701	  キーで「1カイメ」の画面を表示させます。
7		1カイメ カイシ シュウリョウ 140715 140717	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「カイシ」を「140715」、「シュウリョウ」を「140717」にします。
8		1カイメ カイシ シュウリョウ 140715 140717	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		レイスイキ ウンテン スル	  キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
10		レイスイキ ウンテン シナイ	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「シナイ」にします。
11		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 最大9回まで設定できます。
- 2日以上ご使用にならなかったときは、雑菌繁殖の恐れがあります。
湯タンクや別売置台の水タンクの水は、新しい水道水に入れ替えてください。
また、各飲料ボタンを5～6回押しして抽出動作を行い、配管内の残水を排水してください。

学習省エネ運転を設定する

【例】湯タンクの設定温度を73℃、冷水機の設定温度を0℃とし、レギュラーコーヒーおよび湯、水を温度に関係なく抽出可能とする。また、毎日の開始時間（強制的に休止状態を解除し運転を開始させる時間）を7：00に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		ガクシュウショウエネ ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。（「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ ガクシュウショウエネ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ガクシュウショウエネ」が点滅します。
4	 	ドウサ ガクシュウショウエネ スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		ドウサ ガクシュウショウエネ スル	「設定」キーを押して、設定を確定します。
6	 	HOT COLD オンド 90℃ 3℃	キーで「オンド」の画面を表示させます。
7	 	HOT COLD オンド 73℃ 0℃	キーで点滅位置を移動し、 キーで「HOT」を「73℃」に、「COLD」を「0℃」にします。
8		HOT COLD オンド 73℃ 0℃	「設定」キーを押して、設定を確定します。
9	 	RC HOT テキオン 85℃ 70℃	キーで「テキオン」の「RC」、「HOT」の画面を表示させます。
10	 	RC HOT テキオン シナイ シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「RC」を「シナイ」に、「HOT」を「シナイ」にします。
11		RC HOT テキオン シナイ シナイ	「設定」キーを押して、設定を確定します。
12	 	COLD テキオン 9℃	キーで「テキオン」の「COLD」の画面を表示させます。
13	 	COLD テキオン シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「COLD」を「シナイ」にします。
14		COLD テキオン シナイ	「設定」キーを押して、設定を確定します。
15	 	ジカン カイシジカン 7：00	キーで「カイシジカン」の画面を表示させ、 キーで点滅位置を移動し、 キーで「ジカン」を「7：00」にします。
16		ジカン カイシジカン 7：00	「設定」キーを押して、設定を確定します。
17		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●「カイシジカン」は、学習した使用実績に関係なく、強制的に休止状態を解除し、自動お茶いれ機を使用できる状態にする設定です。

コントローラーの使いかた (つづき)

定期的に沸騰させる

【例】 毎日8：30と11：30に沸騰させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウセイギョ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		フットウ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「フットウ」が点滅します。
4	 	フットウ スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		フットウ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイスウ 1カイメ 2カイメ ジコク シナイ シナイ	キーで「ジコク」の画面を表示させます。
7	 	カイスウ 1カイメ 2カイメ ジコク 08：30 11：30	キーで点滅位置を移動し、 キーで「1カイメ」を「8：30」、「2カイメ」を「11：30」にします。
8		カイスウ 1カイメ 2カイメ ジコク 08：30 11：30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 1日に最大3回まで設定できます。
- 沸騰動作中は前面板の沸上げボタンのボタンランプが点滅します。
- 沸騰動作中に前面板の沸上げボタンを押すと、ボタンランプが消灯しキャンセルします。

リンスする

すぐにリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リンスチュウ* ネットウガ デマスノデ チュウイ シテクダサイ	キーを押すとリンスを実行し、リンスが終了すると待機画面に戻ります。

- リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。
- リンスキーを押すと、RCブルワーが動作しますので注意してください。
- リンスキーを長押し(2秒)することで、RCブルワーのみリンスを行います。
- リンス時の湯量・水量は「自動リンス」の湯量・水量設定にて調節できます。

定期的にリンスをする場合

[例] 毎日、11:00と16:00と22:00に湯量40ml、水量30ml、RCブルー100mlでリンスを行い、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替え量を3000mlに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ジドウリンス* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。（「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		リンス スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「リンス」が点滅します。自動リンスを行わない場合は、カーソルキーと「設定」キーで「シナイ」に設定してください。
4	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 07:00 シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「マイニチ」の画面の「1カイメ」「2カイメ」の画面を表示させます。
5	 	ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 11:00 16:00	キーで点滅位置を移動し、 キーで「1カイメ」を「11:00」、「2カイメ」を「16:00」にします。
6		ヨウビ 1カイメ 2カイメ マイニチ 11:00 16:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ シナイ シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「マイニチ」の画面の「3カイメ」「4カイメ」の画面を表示させます。
8	 	ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ 22:00 シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「3カイメ」を「22:00」にします。
9		ヨウビ 3カイメ 4カイメ マイニチ 22:00 シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
10	 	ユ ミズ リョウ 130ml 20ml	キーで「リョウ」の「ユ」、「ミズ」画面を表示させます。
11	 	ユ ミズ リョウ 40ml 30ml	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ユ」を「40」、「ミズ」を「30」にします。
12		ユ ミズ リョウ 40ml 30ml	「設定」キーを押し、設定を確定します。
13	 	ジョウスイキ リョウ 0ml	キーで「リョウ」の「ジョウスイキ」の画面を表示させます。
14	 	ジョウスイキ リョウ 3000ml	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ジョウスイキ」を「3000ml」にします。

コントローラーの使いかた (つづき)

定期的にリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
15	設定 S	ジョウスイキ 3000ml リョウ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
16	◀▶ ▲▼	ブルワー 180ml リョウ	◀▶キーで「リョウ」の「ブルワー」の画面を表示させます。
17	◀▶ ▲▼	ブルワー 100 ml リョウ	◀▶キーで点滅位置を移動し、▲▼キーで「ブルワー」を「100ml」にします。
18	設定 S	ブルワー 100ml リョウ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
19	終了 E	待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序3で「リンス」を「シュウカンヨヤクドウキ」（週間予約同期）に設定すると、「週間予約」（「週間予約を設定する」22ページ参照）の終了時刻にリンスを行います。
- 順序13で「ジョウスイキ」を設定すると、動作設定してある曜日に1日1回だけ、1回目のリンス時刻に除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替えを行います。

給水方式を設定する

【例】給水方式を水道直結タイプとし、最大動作時間を10分、断水検知を1回に設定する。
















順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウスイ ホウシキ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。（「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		キュウスイホウシキ カブタンク	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
4	 	キュウスイホウシキ スイドウ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「カブタンク」を「スイドウ」にします。
5		キュウスイホウシキ スイドウ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	MAXドウサジカン 5フン	キーで「MAXドウサジカン」の画面を表示させます。
7	 	MAXドウサジカン 10 フン	キーで点滅位置を移動し、 キーで「MAXドウサジカン」を「10フン」にします。
8		MAXドウサジカン 10フン	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	ダンスイカイスウ 5カイ	キーで「ダンスイカイスウ」の画面を表示させます。
10	 	ダンスイカイスウ 1 カイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ダンスイカイスウ」を「1カイ」にします。
11		ダンスイカイスウ 1カイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 下部給水タイプは給水を「カブタンク」の設定（工場出荷時設定）でご使用ください。
- 水道直結タイプは給水を「スイドウ」の設定でご使用ください。
- 「カブタンク」の設定では、最大動作時間を変更できません。

コントローラーの使いかた (つづき)

動作音を設定する

【例】沸騰中の動作音を消す。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ドウサオン* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ソウサオン スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ソウサオン」が点滅します。
4		フットウドウサオン スル	  キーで「フットウドウサオン」の画面を表示させます。「スル」に設定してあると動作中に音が鳴ります。
5		フットウドウサオン シナイ	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」を「シナイ」にします。
6		フットウドウサオン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●以下の各動作音の有無を設定できます。

コントローラーの操作音／抽出時の動作音／リンス時の動作音／沸騰制御の動作音／RCブルワー動作時の動作音

基準値を設定する

この機能は「湯・水・原料」機能(37～39ページ参照)で設定する量が、実際の量と異なる場合に補正をする機能です。設定するには、メスシリンダーやはかりなどが必要です。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キジュンチ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 9.0 0.8	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ゲンリョウ」が点滅します。
4	 	キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 5.6 0.8	キーで1の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、右側の原料容器から原料が出てきますので容器で受け計量します。 数回測定して出した平均値を キーで入力します。 ここでは仮に5.6gとします。
5		キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 5.6 0.8	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	キジュンチ 1 2 ユ 150 150	キーで「ユ」の画面を表示させます。
7	 	キジュンチ 1 2 ユ 120 150	キーで1の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、右側の飲料抽出口からお湯が出てきますので容器で受け計量します。 数回測定して出した平均値を キーで入力します。 ここでは仮に120mlとします。
8		キジュンチ 1 2 ユ 120 150	「設定」キーを押し、設定を確定します。 同様に「ミズ」も設定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●コントローラーを交換したときや、RAMクリアを行ったときは、基準値設定をしてください。

主な風商事原料の基準値

煎茶	ほうじ茶	玄米茶	烏龍茶	麦茶	フレッシュウォーター
0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	1.4

コントローラーの使いかた (つづき)

浄水器の交換時期を設定する

この機能を使用するには別売の除菌浄水器（水フィルター）または除菌浄水器付の置台が必要です。

[例] 2014年10月1日に浄水器を交換し、次の交換時期を1年後の2015年10月1日とする。

交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ジュウスイキ コウカン* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。（「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「コウカン」が点滅します。
4		コウカン テイシ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「テイシ」にします。
5		コウカン テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		カイシビ シヨウキゲン 140701 150701	キーで年月日の画面を表示させます。
7		カイシビ シヨウキゲン 140701 15 10 01	キーで点滅位置を移動し、 キーで「シヨウキゲン」を「151001」にします。
8		カイシビ シヨウキゲン 141001 151001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「コウカン」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。
「シナイ」に設定するるとこの機能は動作しません。
- 「カイシビ」の年月日は「シヨウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。
「コウカン」の設定内容の変更は「シヨウキゲン」の年月日を換えずに変更することができます。

冷却用タンクの水の交換時期を設定する

【例】 2014年10月1日に冷却用タンクの水を交換し、次の交換時期を1年後の2015年10月1日とする。
交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*レイキャクスイ コウカン* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「コウカン」が点滅します。
4	 	コウカン テイシ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「テイシ」にします。
5		コウカン テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイシビ ショウキゲン 140701 150701	キーで年月日の画面を表示させます。
7	 	カイシビ ショウキゲン 140701 15 10 01	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ショウキゲン」を「151001」にします。
8		カイシビ ショウキゲン 141001 151001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「コウカン」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。
「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。
- 「カイシビ」の年月日は「ショウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。
「コウカン」の設定内容の変更は「ショウキゲン」の年月日を換えずに変更することができます。

コントローラーの使いかた (つづき)

スクリーンフィルターの交換時期を設定する

【例】2014年10月1日にスクリーンフィルターを交換し、次の交換時期を1年後の2015年10月1日あるいは抽出杯数が8000杯に達したときの早い方とする。

交換時期に達したら、休止モニターに表示しレギュラーコーヒーの抽出を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*スクリーンフィルターコウカン* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		ナイヨウハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		コウカン シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「コウカン」が点滅します。
4		コウカン テイシ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「コウカン」を「テイシ」にします。
5		コウカン テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		カイシビ ショウキゲン 140701 150701	キーで年月日の画面を表示させます。
7		カイシビ ショウキゲン 140701 151001	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ショウキゲン」を「151001」にします。
8		カイシビ ショウキゲン 141001 151001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		フィルターカイスウ リミット 0 10000	キーで「フィルターカイスウ」の画面を表示させます。
10		フィルターカイスウ リミット 0 8000	キーで点滅位置を移動し、 キーで「リミット」を「8000」にします。
11		フィルターカイスウ リミット 0 8000	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「コウカン」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。
「シナイ」に設定するとの機能は動作しません。
- 「カイシビ」の年月日は「ショウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。
「コウカン」の設定内容の変更は「ショウキゲン」の年月日を変えずに変更することができます。
- 「フィルターカイスウ」の回数は「リミット」の回数を変更して「設定」キーを押したときに、それまでの使用回数がリセットされて「0」になります。

レギュラーコーヒー原料の売切れを設定する

【例】レギュラーコーヒー原料を500g投入し、原料の残量が売切れに達したら、休止モニターに表示しレギュラーコーヒーの抽出を停止させる。






















順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*RCゲンリョウ ウリキレ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		ナイヨウハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ウリキレ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ウリキレ」が点滅します。
4	 	ウリキレ テイシ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ウリキレ」を「テイシ」にします。
5		ウリキレ テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	ノコリ ショキチ 400g 400g	キーで左記画面を表示させます。
7	 	ノコリ ショキチ 400g 500g	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ショキチ」を「500g」にします。
8		ノコリ ショキチ 500g 500g	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「ウリキレ」を「ケイコク」に設定すると、原料の残量が売切れに達したとき休止モニターに表示され、レギュラーコーヒーの飲料ボタンランプが点滅しますが、運転は停止しません。
「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。
- 「ノコリ」の量は「ショキチ」の量を変更して「設定」キーを押したときに、「ショキチ」と同じ量にセットされます。
- この機能は、原料の基準値が正しく設定されていないと、適切な動作ができません。
必ず基準値の設定を行ってください。

コントローラーの使いかた (つづき)

廃棄容器の清掃時期を設定する

【例】レギュラーコーヒーの抽出済み原料が、廃棄する容器に450g溜ったとき、休止モニターに表示するが、レギュラーコーヒーの抽出は停止させない。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ハイキ ヨウキ セイソウ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		ナイヨウハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		セイソウ テイシ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「セイソウ」が点滅します。
4		セイソウ ケイコク	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「セイソウ」を「ケイコク」にします。
5		セイソウ ケイコク	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		セイソウハイキリョウ 400g	  キーで左記画面を表示させます。
7		セイソウハイキリョウ 450g	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「セイソウハイキリョウ」を「450g」にします。
8		セイソウハイキリョウ 450g	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「セイソウ」を「テイシ」に設定すると、所定の量に達したとき休止モニターに表示され、レギュラーコーヒーの抽出を停止させます。
「シナイ」に設定するるとこの機能は動作しません。
- この機能は、原料の基準値が正しく設定されていないと、適切な動作ができません。
必ず基準値の設定を行ってください。

サニテーション(指定薬剤を使用するRCブルワーの清掃)の時期を設定する

【例】2014年10月1日にサニテーションし、次のサニテーション時期を1年後の2015年10月1日あるいは抽出杯数が500杯に達したときの早い方とする。

交換時期に達したら、休止モニターに表示しレギュラーコーヒーの抽出を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*サニテーション セッテイ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。
2		ナイヨウハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ジッコウ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ジッコウ」が点滅します。
4	 	ジッコウ テイシ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ジッコウ」を「テイシ」にします。
5		ジッコウ テイシ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	ゼンカイ ジッコウキゲン 140701 150701	キーで左記画面を表示させます。
7	 	ゼンカイ ジッコウキゲン 140701 151001	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ジッコウキゲン」を「151001」にします。
8		ゼンカイ ジッコウキゲン 141001 151001	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	ジッコウハイスウ リミット 0 1000	キーで「ジッコウハイスウ」の画面を表示させます。
10	 	ジッコウハイスウ リミット 0 500	キーで点滅位置を移動し、 キーで「リミット」を「500」にします。
11		ジッコウハイスウ リミット 0 500	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「ジッコウ」を「ケイコク」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。
「シナイ」に設定するとこの機能は動作しません。
- 「ゼンカイ」の年月日は「ジッコウキゲン」の年月日を変更して「設定」キーを押したときのみ、その日の年月日に変更されます。
「ジッコウ」の設定内容の変更は「ジッコウキゲン」の年月日を変えずに変更することができます。
- 「ジッコウハイスウ」の杯数は「ジッコウキゲン」の設定を行ったとき、またはサニテーションを行ったときに、それまでの使用杯数がリセットされて「0」になります。

コントローラーの使いかた (つづき)

かんたん設定(飲料量)を行う

[例] 飲料量を「標準」から「多い」に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*カンタンセッテイ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		カンタンセッテイ ヒョウジュン	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「カンタンセッテイ」が点滅します。
4		カンタンセッテイ オオイ	キーで点滅位置を移動し、キーで「カンタンセッテイ」を「オオイ」にします。
5		カンタンセッテイ オオイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。











原料の量を設定する

[例] 飲料ボタン3に原料量7.5gを設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンリョウ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン ゲンリョウ 1 10.0g	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン ゲンリョウ 3 7.5g	キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次にキーで「ゲンリョウ」の下を点滅させキーで「7.5g」にします。
5		ボタン ゲンリョウ 3 7.5g	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

飲料の量と温度を設定する











【例】 飲料ボタン5を量120ml、温度75℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユ・ミズ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン リヨウ オンド 1 140ml HOT	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン リヨウ オンド 5 120ml 75 ℃	 キーで「ボタン」の下を「5」にしてください。次に  キーで点滅位置を移動し  キーで「リヨウ」を「120ml」、「オンド」を「75℃」にします。
5		ボタン リヨウ オンド 5 120ml 75℃	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 飲料ボタン1、3は「HOT」のみの設定となります。
- 湯・水の量を「連続」に設定したとき、温度は「COLD」、「HOT」のみの設定となります。

濃さの追加を設定する

【例】 飲料ボタン3を30%追加に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*コサノ ツイカ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン コサノツイカ 1 20%	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン コサノツイカ 3 30 %	 キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次に  キーで「コサノツイカ」の下を点滅させ  キーで「30」にします。
5		ボタン コサノツイカ 3 30%	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

量の追加を設定する

【例】飲料ボタン6の飲料量を30%追加に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リョウノ ツイカ* ヘンコウハ T ホカハ U・D	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン リョウノツイカ 1 20%	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン リョウノツイカ 6 30%	キーで「ボタン」の下を「6」にしてください。次にキーで「リョウノツイカ」の下を点滅させキーで「30」にします。
5		ボタン リョウノツイカ 6 30%	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 飲料量の設定可能範囲を超える追加量の設定はできません。
(設定可能範囲は16ページ「湯水量」の設定可能値を参照)

適温になっていないが抽出する

お湯や冷水の温度が適温に達してなく、飲料が抽出できないときに飲料を抽出したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマー イチジ カイジョ* ヘンコウハ T オワリハ E	「タイマー解除」キーを押すと左記画面が表示されます。
2		ウンテン T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3		イチジ カイジョ T デ エランデ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「イチジカイジョ」が表示されますので「イチジカイジョ」を表示します。
4		待機画面に戻ります。	抽出ができるようになります。

- 通常の運転状態に戻すには、順序3で「ウンテン」に設定してください。
- 「週間予約」「休日予約」の休止条件で休止中の場合は、同じ操作で休止を一時解除できます。
タイマー一時解除による一時解除は「週間予約」「休日予約」で設定した終了時刻または終了日を過ぎると、自動的にキャンセルされます。
- 「学習省エネ運転」で運転中の場合は、同じ操作で学習省エネ運転を一時解除できます。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

お手入れ

警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

RCブルワー動作中は、RCブルワーおよび機構部に手を触れない

けがの原因になります。



接触禁止

部品を取りはずし洗浄するときは

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

汚れが落ちにくいときは

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

原料容器を着脱するとき

原料を入れたままで、原料容器を着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてご使用ください。

お手入れの時期と手順

お手入れの時期と手順は下図の順番で行います。

順番が違くと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順で行ってください。

毎日のお手入れ

…①~④とリンスキーによるリンス洗浄

月に一度のお手入れ

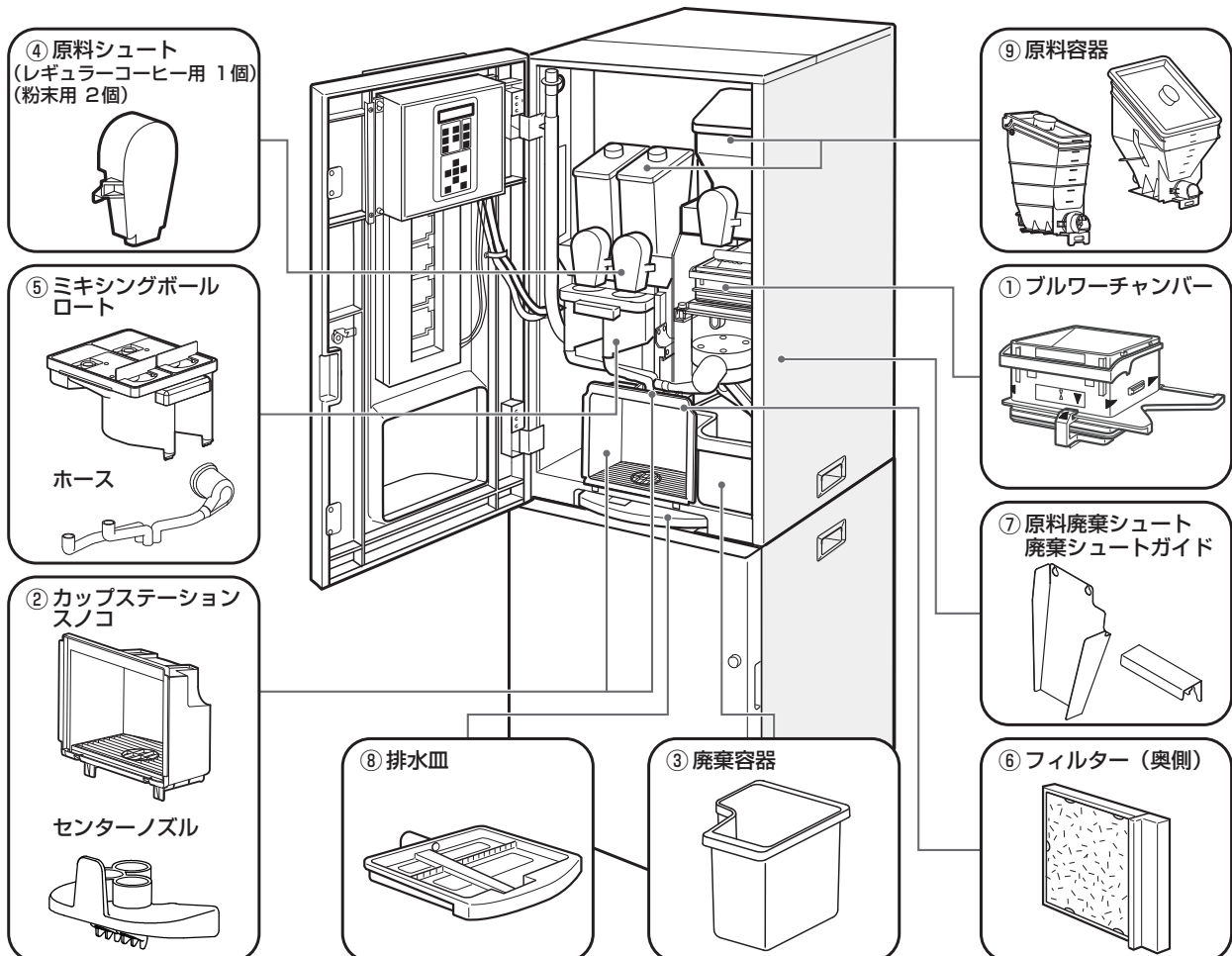
…⑨と別売置台の排水受けの排水口

週に一度のお手入れ

…⑤~⑧と湯タンクの排水

年に一度のお手入れ

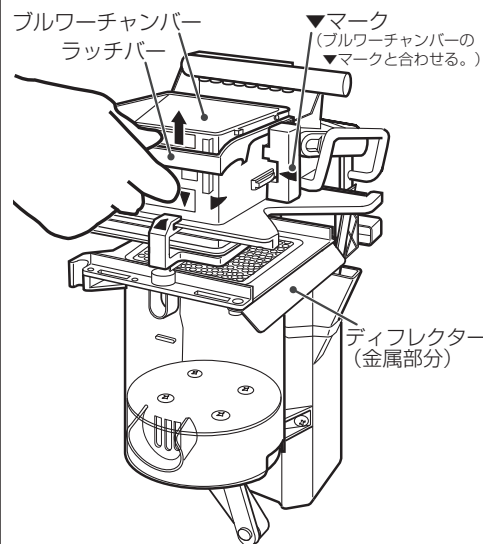
…冷却用タンクの水の交換



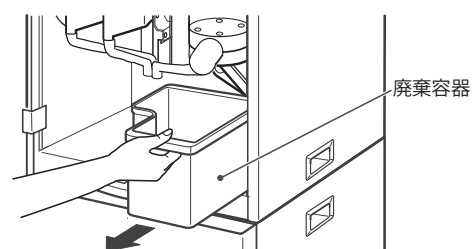
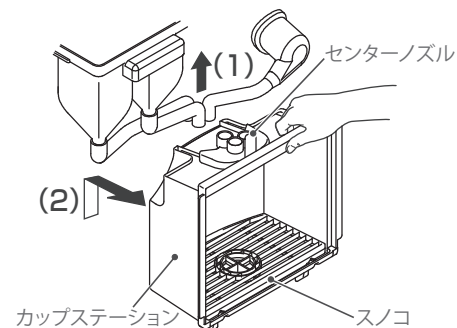
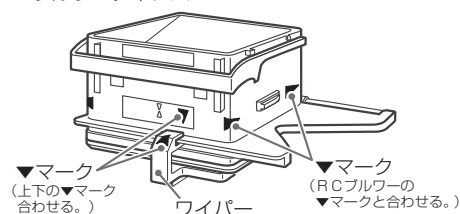
毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順で行います。
機械内外のホコリや汚れは、きれいなフキン等でふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた
—	ミキシングボール R C ブ ル ワ ー	コントローラーの「リンス」キーを押してミキシングボールとRCブルワーに湯を流し、飲料通過部分を洗い流してください。
①	ブルワーチャンバー — お願い — ブルワーチャンバーの着脱作業は必ず販売店による注意点の説明を受けてから行ってください。 誤った作業を行うと、けがや機械の故障の原因となります。	<p>コントローラーの「ブルワーサービス」キーを押してブルワーチャンバーを動作させます。ブルワーチャンバーのラッチバーを上へ軽く持ち上げながら、手前側に引き出します。RCブルワーのディフレクター（金属部分）についても清掃してください。ブルワーチャンバー洗浄後は水気をよく切り、RCブルワーに取り付けてください。</p> <p>●取り付けの際は、RCブルワーの▼マークとブルワーチャンバー側面の▼マークの位置を合わせて取り付けください。<u>ブルワーチャンバーは、「カチッ」と音がして止まるまで確実に押し込んでください。取り付け後は、ラッチバーを操作せずにブルワーチャンバーを軽く引っ張って、はずれないことを必ず確認してください。</u>取り付けが不十分のまま、RCブルワーを動作させると故障します。</p> <p>●取り付け後は、ブルワーチャンバー正面の▼マークとワイパー部の▼マークの位置が合っていることを確認してください。ワイパーの位置がずれたままRCブルワーを動作させると故障します。</p> <p>ブルワーチャンバー取り付け後、コントローラーの「ブルワーサービス」キーを押してブルワーチャンバーを動作させ、RCブルワーを待機状態に戻します。</p> <p>●RCブルワー動作中は、RCブルワーおよび機構部に手を触れないでください。けがの原因になります。</p>
②	カップステーション ス ノ コ センターノズル	<p>(1)センターノズルに接続されているホースを全てはずし、(2)カップステーションを少し持ち上げてから手前に取りはずします。洗浄した後は水気を良く切ってください。</p> <p>●取り付ける際は、センターノズルの先端がスノコの中心になるように確実にセットし、はずしたホースは所定の位置に奥まで確実に挿入してください。センターノズルの位置がずれていたり、ホースの挿入が不十分だと、飲料が飛散し汚れの原因になります。</p>
③	廃 棄 容 器	<p>カップステーションをはずした後、手前に引き出してははずします。抽出済み原料を捨て、洗浄した後は水気を良く切ってください。</p> <p>●洗浄後は必ずコントローラーの「廃棄リセット」キーを2回押して『廃棄リセット』を行ってください。『廃棄リセット』を行わないと、レギュラーコーヒーの抽出ができなくなる等、誤動作の原因になります。 (13ページ「コントローラーの使い方」を参照)</p>



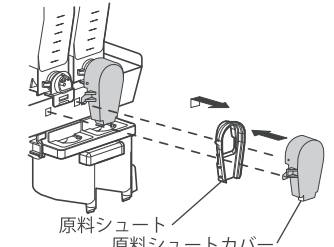
《ブルワーチャンバー》



お手入れ (つづき)

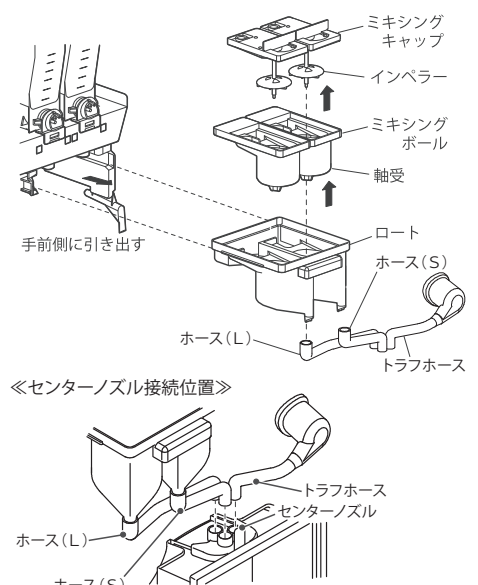
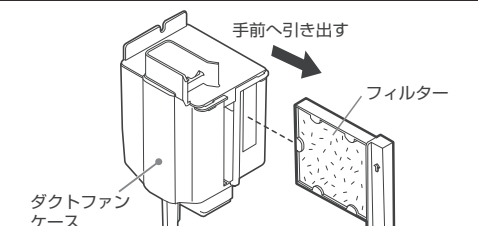
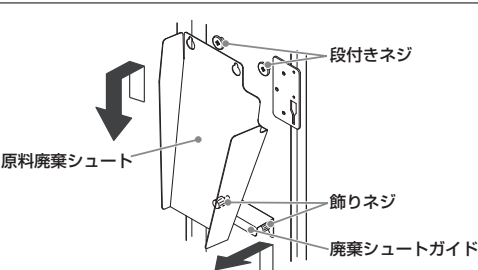
毎日のお手入れ (つづき)

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順で行います。
機械内外のホコリや汚れは、きれいなフキン等でふき取ります。

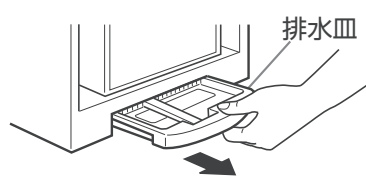
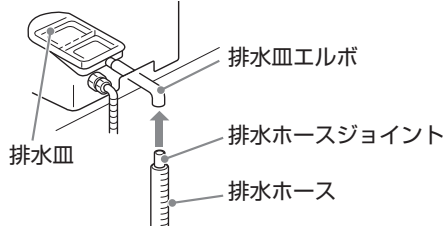
手順	部 品	お手入れのしかた
④	原料 シュート	<p>上に軽く持ち上げてから、手前にはずし、原料シュートと原料シュートカバーを分解してください。</p> <p>洗浄した後は水気を良く切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。</p> 

週に一度のお手入れ

①～④までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順で行います。

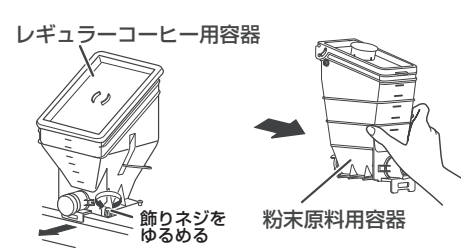
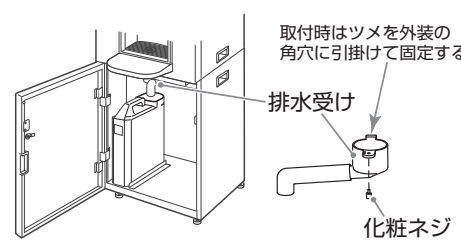
手順	部 品	お手入れのしかた
⑤	ミキシングボール ロ ト ス	<p>ロートを手前に引いてはずし、それぞれの部品を洗浄した後、水気を良く切り、取り付けてください。ミキシングキャップに付いているインペラーの先端が、ミキシングボールの軸受の中に入るように確実に組み合わせた後、ロートと組み合わせ、ミキシングキャップが平らになっていることを確認し、本体に取り付けてください。</p> <p>●取り付けが不十分のまま、ミキシングボールを動作させると故障の原因になります。</p> <p>各ホースは根元まで確実に挿入してください。ホース (L) をセンターノズルにセットする際は、必ずホース (S) の後側を通して、所定の位置にセットしてください。</p> <p>取り付け後は、ホースが所定の位置に確実に挿入されていることを確認してください。</p> <p>●ホースの挿入が不十分だったり、誤った位置にホースを接続すると飲料が飛散し汚れの原因になります。</p> 
⑥	フ ェ ル タ ー	<p>カップステーションを取りはずしてから、奥にあるダクトファンケースのフィルターを手前に引き出し、付属のフィルターと交換してください。</p> <p>●汚れたフィルターはぬるま湯に浸け置き洗った後、十分に乾燥させてから保管してください。</p> 
⑦	原料廃棄シュート 廃棄シュートガイド	<p>原料廃棄シュートは、上に軽く持ち上げてから左側にずらして、機体右内側にある段付きネジからはずして、下に引き抜くようにはずします。</p> <p>廃棄シュートガイドは、下の飾りネジ (2本) をゆるめた後、上に持ち上げてはずします。</p> <p>洗浄した後は、水気を良く切り、取り付けてください。</p> 

週に一度のお手入れ (つづき)

手順	部 品	お手入れのしかた	
⑧	排 水 皿	本体底部から引き出して、ぬるま湯で洗浄してください。	
		卓上の直接排水 (Dタイプ) の場合は、排水皿エルボから排水ホースジョイントをはずし、排水皿を引き出してください。再度取り付ける際は、排水ホースジョイントを排水皿エルボ先端に確実に押し込み、緩みの無いことを確認してください。	
—	湯 タ ン ク	湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。	

月に一度のお手入れ

①～④までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順で行います。

手順	部 品	お手入れのしかた	
⑨	原 料 容 器	粉末原料用容器はそのまま手前に引き出し、レギュラーコーヒー用容器は右手前側の飾りネジをゆるめてから、同様に手前に引き出してください。原料容器内の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。	
—	置 台 排 水 口	置台上方の排水受けの排水口がゴミなどで詰まることがあります。化粧ネジ (1本) を取り、排水受けをはずし点検してください。ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。	

お手入れ (つづき)

年に一度のお手入れ

冷却用タンクの水の交換

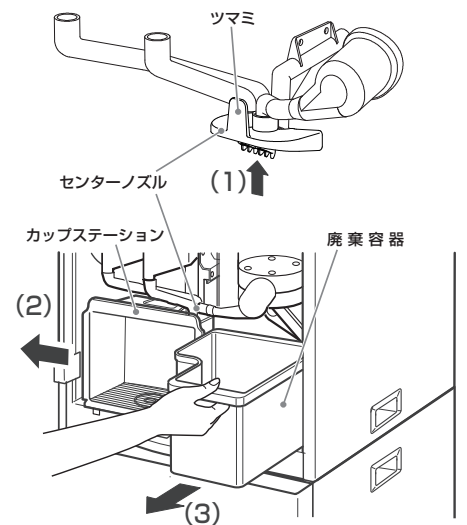
		お手入れのしかた
排水方法	<p>キャップをはめたままホースをはずし、排水容器の中にホースの先端を入れ、キャップをはずし排水をします。(冷却用タンク容量：4.9L) 排水が終わったら、キャップをはめて、ホースを本体にセットしてください。</p>	
給水方法	<p>上面板の手前側を持ち上げてください。ホースを本体にセットしたままキャップをはずし、じょうごをホース先端に差し込み、上から給水します。(じょうごがホースからはずれないように注意してください) じょうごは、本体内部の左側面の下側に収納されています。 タンクがいっぱいになると、溢れて排水皿に水が流れるのが見えます。給水を止め、じょうごをはずして、ホースにキャップをはめてください。</p>	

廃棄容器のお手入れ

廃棄容器は、抽出杯数に応じて満杯になる前に都度清掃してください。

清掃後は、必ずコントローラーにて『廃棄リセット』を行ってください。(13ページ参照)

手順	部品	お手入れのしかた
—	廃棄容器	<p>(1) センターノズルのツマミを持ってホースごと持ち上げた状態で、(2) カップステーションを左側に突き当たるまでスライドさせてください。センターノズルはそのままカップステーションの上に置いておきます。(3) 廃棄容器を手前に引き出してはしめます。抽出済み原料を捨てて洗浄してください。洗浄した後は、水気を良く切って取り付けてください。廃棄容器は突き当たるまで確実にに入れてください。</p> <p>センターノズルを持ち上げた状態で、カップステーションを元の位置に戻し、センターノズルをカップステーションの上にセットしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取り付ける際は、センターノズルの先端がスノコの中心になるように確実にセットし、ホースは所定の位置に奥まで確実に挿入されていることを確認してください。センターノズルの位置がずれていたり、ホースの挿入が不十分だと、飲料が飛散し汚れの原因になります。 ●洗浄後は必ずコントローラーの 廃棄リセット キーを2回押して『廃棄リセット』を行ってください。『廃棄リセット』を行わないと、レギュラーコーヒーの抽出ができなくなる等、誤動作の原因になります。(13ページ「コントローラーの使い方」を参照)



別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。
置台については「はじめてご使用になる前に」（8～9ページ参照）をご覧ください。

カップホルダー（MTC-101）

自動お茶入れ機本体に取り付け可能です。

MTC-101は、カップサイズが4段階調節可能で、自動お茶入れ機本体の左右どちら側にも取り付けられます。

原料

自動お茶入れ機専用として、特に厳選された原料を用意してあります。原料は粒度や吸湿性の違いにより正常な動作ができないことがありますので、必ず指定の原料をご使用ください。

除菌浄水器（水フィルター）

水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぐためのものです。

水フィルターは性能を維持するため、定期的に交換が必要です。

詳しくは販売店にご相談ください。

自動洗浄装置（JST-20）

排水用電磁弁です。コントローラーで曜日・時刻を設定しておく、その時刻に自動的に湯タンク内の水を排水し、再給水して新しい水と入れ替えることができます（但し直接排水できる場合に限りです。）

コイン管理装置（CB-20）

コインメカニズムを使用し、有料で抽出する飲料をコントローラーで設定することにより、コインを投入したときだけ飲料ボタンを受け付けるようにします。

漏水検知装置（RKT-25）【D/PAタイプ用】

リード線付漏水センサー・外部追加の電磁弁・ドレンパンなどのセットで、万一水漏れした場合に外部追加の電磁弁を閉める機能があり、水漏れに対する安全性が向上します。

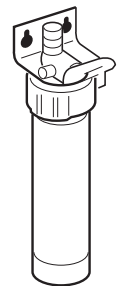
ドレンパン（RKT-01P）【PB/Tタイプ用】

置台の下に敷き、床面を汚さないようにするためのものです。大きさは524mm×574mmで、深さは17mmです。

リード線付漏水センサー（RKT-03P）【PB/Tタイプ用】

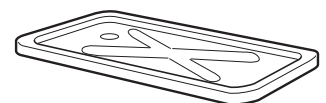
ドレンパンとセットで使用し、万一水漏れした場合に検知します。

MTC-101



原料

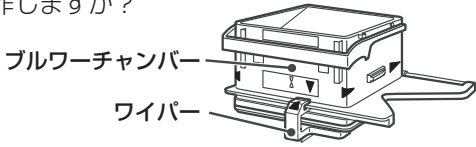
水フィルター
(浄水器)



ドレンパン

修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた																												
準備中が点灯	●コントローラーに休止モニターが表示されていませんか？	●休止モニターの表示に従ってください。 ●故障時や異常時には前面板デジタル表示部に下記の通り、故障メッセージが表示されます。 <table border="1" data-bbox="960 387 1481 618"> <tr> <td>水センサー開放</td> <td>F 0</td> <td>漏 水</td> <td>F 7</td> </tr> <tr> <td>水センサー短絡</td> <td>F 1</td> <td>電池異常</td> <td>F 8</td> </tr> <tr> <td>IBC センサー異常</td> <td>F 2</td> <td>コイン信号異常</td> <td>F 9</td> </tr> <tr> <td>冷水機異常</td> <td>F 3</td> <td>時計異常</td> <td>F A</td> </tr> <tr> <td>湯センサー開放</td> <td>F 4</td> <td>メモリー異常</td> <td>F B</td> </tr> <tr> <td>湯センサー短絡</td> <td>F 5</td> <td>ブルワー異常</td> <td>F C</td> </tr> <tr> <td>湯センサー異常</td> <td>F 6</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>	水センサー開放	F 0	漏 水	F 7	水センサー短絡	F 1	電池異常	F 8	IBC センサー異常	F 2	コイン信号異常	F 9	冷水機異常	F 3	時計異常	F A	湯センサー開放	F 4	メモリー異常	F B	湯センサー短絡	F 5	ブルワー異常	F C	湯センサー異常	F 6	—	—
	水センサー開放	F 0	漏 水	F 7																										
水センサー短絡	F 1	電池異常	F 8																											
IBC センサー異常	F 2	コイン信号異常	F 9																											
冷水機異常	F 3	時計異常	F A																											
湯センサー開放	F 4	メモリー異常	F B																											
湯センサー短絡	F 5	ブルワー異常	F C																											
湯センサー異常	F 6	—	—																											
●学習省エネ運転による休止中ではありませんか？	●運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時的解除してください。 ●前面板操作部の「沸上げ」ボタンで湯タンクを沸き上げ、適温になれば温飲料は抽出できます。																													
湯が沸かない	●電源プラグがはずれていませんか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。																												
	●電源スイッチが切れていませんか？	●電源スイッチを入れてください。																												
	●水タンクに水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水タンクの残水量が少なくなると本体へ給水しなくなり、湯タンクの水位が下がりヒーターに通電されなくなります。タンクに水を補給してください。																												
	●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？(水道直結タイプの場合)	●同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。																												
	●「週間予約」・「休日予約」の休止中ではありませんか？	●運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時的解除してください。																												
●学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	●「タイマー解除」キーで一時的解除するか、前面板操作部の「沸上げ」ボタンキーで湯タンクを沸き上げてください。																													
湯がぬるい	●湯温の設定が低くなっていませんか？	●お望みの温度に設定してください。																												
	●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。																												
	●水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水を補給してください。 約40分で沸き上がります。																												
	●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？(水道直結タイプの場合)	●給水配管の止水栓を開いてください。																												
	●学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	●「タイマー解除」キーで一時的解除するか、前面板操作部の「沸上げ」ボタンで湯タンクを沸き上げてください。																												
冷水の冷えがわるい	●本体後面の排気口が塞がっていませんか？	●本体を壁などの障害物から離してください。																												
	●直射日光が当たっていませんか？	●窓にブラインドなどをしてください。																												
	●近くに熱器具がありませんか？	●熱器具と離してください。																												
	●連続して多量の冷水を取り出した後ではありませんか？	●再び冷えるまでしばらくお待ちください。 約10分で適温となります。																												
	●冷却用タンクに水が充分入っていますか？	●冷却用タンクに給水してください。																												
	●学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	●運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時的解除してください。																												
排水ランプが点滅	●置台の排水タンクが満水ではありませんか？	●排水タンクの水をすててください。																												

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
運転音が大きい	● 機体が不安定ではありませんか？	● 丈夫で平坦な場所に据えつけ、機体がグラグラしないように安定させてください。
	● 機体が他の製品に触れていませんか？	● 他の製品から離してください。
断水ランプが点滅	● 水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	● 水を補給してください。
	● 断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていませんか？ (水道直結タイプの場合)	● 給水配管の止水栓を開いてください。
	● 湯タンクまたは冷却用タンクの水位が低くありませんか？	● 湯タンクまたは冷却用タンクへの給水を確認してください。
レギュラーコーヒー飲料が抽出できない	● 廃棄容器の中に抽出済み原料が溜まっていますか？	● 廃棄容器を清掃してください。清掃後は、必ずコントローラーにて『廃棄リセット』を行ってください。 (13ページ「コントローラーの使い方」を参照)
	● 廃棄容器清掃後、『廃棄リセット』を行いましたか？	● コントローラーにて『廃棄リセット』を行ってください。 (13ページ「コントローラーの使い方」を参照)
	● レギュラーコーヒー原料を補給した後、『コーヒーリセット』を行いましたか？	● コントローラーにて『コーヒーリセット』を行ってください。 (13ページ「コントローラーの使い方」を参照)
	● ブルワーチャンバーは正常にセットされていますか？RCブルワー動作時にワイパーは左右に動作しますか？	● ブルワーチャンバーを再度セットしなおしてください。 (42ページ「毎日のお手入れ」を参照)
		
飲料の味がまずい 飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	● コントローラーの湯・水・原料の量は適切ですか？	● 湯・水・原料の量、基準値をお好みの味となるように再設定してください。
	● 原料の種類をかえていませんか？	● 指定の専用原料をご使用ください。
	● 原料は充分入っていますか？	● 原料を補給してください。
	● 原料容器の出口がつまっていますか？	● 湿気が多いと出口がつまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
● 原料シュートは取り付けられていますか？	● 原料シュートを取り付けてください。原料シュートがないと原料が飛び散ります。	

仕 様

項 目		給 茶 部	冷 水 部
製 品 寸 法		巾450mm×奥行515mm(カップ置台取付け時610mm)×高さ880mm(置台組合せ1530mm)	
製 品 質 量		44kg	
タ ン ク 容 量		5.6L	4.9L
湯・冷水温度		約95℃(73~98℃可能)	約4℃
原 料 容 器		3個(レギュラーコーヒー原料用1個、粉末原料用2個)	
原料容器の容量		レギュラーコーヒー原料用:約1,800ml 粉末原料用:約800ml	
給 水 管 口 径		G1/2A	
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50/60Hz共用	
	消費電力	1,030W	175/190W
表 示		LEDランプ	
加 装 熱 置	電熱装置	シーズ線ヒーター(1,000W)	—
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール	—
	安全装置	温度過昇防止器	—
冷 却 装 置	圧 縮 機	—	完全密閉型
	凝 縮 機	—	プレートフィン付チューブ(強制空冷)
	冷 媒	—	HFC-134a(70g)
	温度調節	—	IBC(アイスバンクコントロール)
付 属 品		取扱説明書、工事説明書、お手入れシート、保証書、鍵、フィルター、(注1)商品ラベルセット、 (注1)商品ラベル、排水皿エルボ、飾りネジ	

(注1) 商品ラベルセットは使用する原料を表示するラベルで、商品ラベルは飲料の種類を表示するラベルです。

工場出荷時表示してある飲料以外の飲料を抽出する場合に使用します。商品ラベルの中から抽出する飲料のラベルを選び、前面板の商品ラベルと交換してください。

次に6ページの飲料ボタンと原料容器の関係を見ながら、商品ラベル横の飲料ボタンに対応する原料の商品ラベルセットを、原料容器と原料容器棚後部のラベルセットの上に貼ってください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- この自動お茶いれ機には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この自動お茶いれ機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- この自動お茶いれ機の補修用性能部品は製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

47～48ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

出張修理

■保証期間中は.....

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容.....

品名	自動お茶いれ機
形名	HTC-854RL
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！

<p>このような症状はありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。 	▶	<p>ご使用中</p>	<p>このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p>
---	---	-------------	--

⚠ 長期使用製品の安全に関するお願い

⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

■設計上の標準使用期間：7年（製造年：本体内に西暦年をラベルで表示しています。）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。

また、一般的な故障を保証するものではありません。

■経年劣化とは

長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

標準的な使用条件と異なる場合、本来の使用目的以外や改造等で使用された場合短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件

区分	項目	条件
環境条件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz/60Hz
	室温	1℃~35℃
	湿度	85%以下
負荷条件	給水圧	0.1MPa~0.75MPa
	給水温度	1℃~30℃
	負荷	12時間/日 使用
使用条件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2,000杯
	1年間使用杯数	24,000杯

⚠ この自動お茶いれ機は長期使用安全のため 使用開始から10年で全運転を停止します

■この自動お茶いれ機は、使用開始時（設置してはじめて電源を入れたとき）からタイマーによるカウントを開始し、10年経過した時点で全運転を停止（すべてのランプ表示が消灯）する仕様になっています。

※電源を切っている間もタイマーのカウントは継続されます。

■全運転を停止する90日前から、コントローラーの液晶画面に停止までの残り日数を表示します。お早目に販売店にご相談ください。

この自動お茶いれ機の設計上の標準使用期間は7年となっております。
より安全にご使用いただくため、お早目の交換、メンテナンスをいただけますよう
ご理解とご協力をお願いいたします。